1，本園の教育方針　　　　　名前　酒井義信

１、基本的な生活習慣を身につける。（食事、排泄、手洗い・うがい、衣類の着脱、生活リズムができる子にする。）
２、年齢にふさわしい運動をして、体をつくる。（自分の思い通りに体を動かせる）
３、自由に伸びのびと自己表現のできる力を身につける。（自分の思いや考えを、言葉などを使って他者に伝えられる）
４、自発的に自己課題に挑戦し、それを実現していこうとする意欲や積極性を身につける。
（チャレンジする事を見つけ挑戦するなかで、実現するための想像力や忍耐力を高める）
５、仲間と共に生活し、活動するのを喜び、楽しむ心を豊かに培う。（友だちの自由を認め 協力してみんなが心地よい生活ができるように努力する）
６、身近な環境と触れ合い、好奇心・探究心を持つ。（いろいろな発見を生活や遊びに取り入れる事ができる子にする。）

2，本年度、重点的に取り組む研究主題、目標

年長を幼稚園の中心として、幼稚園生活を送ることによってどのような変化があったのか？学年、学期、教育方針に関連付けて考察する。
◯縦割りの関係を強化し、年長を中心とした幼稚園生活を構築する。
◯子どもたちが、主体的に幼稚園生活がおこなわれるように環境を整える。
◯心地よい集団を形成しながら、一人一人が自己発揮できるようにする。

3，評価項目の達成及び取組状況

【評価基準】A　十分達成されている（おおむね80%以上）
B　ほぼ達成されている（60%～80%くらい）
C　取り組まれているが成果が十分でない（40%～60%くらい）
D　取組が不十分である（40%以下）

評価項目	結果	理由
幼稚園の教育課程の編成・実施に関して教職員間の共通理解をはかる。	B	カリキュラム（年間指導計画）に学期末などに学年会議で反省し、特記事項を赤ペンで記入している。その意見を基に学年末に検討し教育課程の修正を行っている（ことから）。
長期的に保育を計画し、実践している。（一年の流れを把握し、適切に職務する。）	B	毎月学年会議を行い、年間指導計画に基づいて月案を話し合い、さらに学級担任で週案、日案を立てている（ことから）。
保育の質の向上のために、研修及び学びの場を充実させる。（職務向上の為に必要なスキルを身につけ向上させる）	A	園内研修を計画的に行い、外部講師から講習等を受けるとともに、外部研修会にも積極的に参加している。。また、学会発表等を組織的に行うなど向上意欲が高い（ことから）。
保護者のニーズと把握に努め、要望や苦情に適切な対応をはかる。	B	保護者アンケートを全員に行い、保護者のニーズを掴み、可能なことから改善を図っている（ことから）。
保育以外の職務に対しても積極的に動き、よりよい環境をつくる。	A	園務分掌が全教師に明確に分担されており、さらにチームになり協力して立案、実施が図れるように工夫されている（ことから）。
安全管理（施設、設備、通園など）を日々行っている。	B	教師が定員以上に十分配置されており、園児の安全面の対応、施設等の安全への対応はしやすい状況にある。常により高い安全への取り組みと意識の高揚を図ることが欠かせない。

４，今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
（新しい園舎になり子どもの動線に変化があり、子どもがそれに慣れることが必要になるので、安全管理に重点を置いて保育に当たってほしい。）	（安全管理チェックリストを作成し、毎日それを基にチェックして安全を確認する。また、時間的余裕をもって子どもの移動に当たる。など）
（より良い遊び保育のために、室内遊び、外遊びのバランスを取りながら、遊びへの環境構成、援助の方法を高めてほしい。）	（年間指導計画に基づいて季節や行事とを鑑み、月案を立てる際に室内遊び、外遊びの時間的配分を考えて計画する。また、室内遊びでは、子ども集団としてクラスの子どもたちが友だちと仲良く継続して遊べる援助を工夫してほしい。）